

建築改修工事仕様書

I 工事概要

1 工 事 場 所 雲南市三刀屋町乙加宮地内

2 地 域 地 区 (都市計画区域外)

3 敷地面積

4 建 物 用 途 寺院

5 棟別概要

[illegible]

Ⅱ 工事仕様

1 共 通 事 項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2 特記事項

(1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は ○ 印を適用する。
○ 印の無い場合は、 * 印のあるものを適用する。
○ 印と ⊙ 印のある場合はともに適用する。

(3) 特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目・図または表を示す。
特記事項に記載の () 表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。

章	項	目	特 記 事 項
① 一般共通事項	①	適用基準等	<p>* 建築工事標準詳細図（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>・ 公共住宅標準詳細設計図集（第４版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修</p> <p>* 営繕工事写真撮影要領（令和５年版）による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 令和５年版 一般社団法人公共建築協会 編集</p>
	②	材料の品質等	<p>本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）～６）の事項を満たすものとする。</p> <p>ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の１）～６）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> １）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ２）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ３）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ４）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ５）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 ６）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆とする。 <p>なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。</p> <p>また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。</p> <p>ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。</p>

3

環境への配慮

4

特別な材料の工法及び製品

5

電気保安技術者
[1.3.3]

6

施工条件
[1.3.5]

7

発生材の処理等
[1.3.12]

8

交通安全管理
[1.3.9]

9

施工数量調査
[1.5.2]

10

調査のための破壊部分の補修方法
[1.6.3]

本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。

改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。
・ しまね・ハツ・建設ブランドに登録された下記工法又は製品を使用する。

登録技術	適用箇所

* 配置する
資格等は監指表1.3.2及び監指表1.3.3による

詳細は施工条件書による

・ 引き渡しを要するもの
()

・ 現場において再利用を図るもの
()

産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による

項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	DIDD 区間 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化 の有無等)
特定建設資材	・ コンクリート塊					有
	・ アスファルト塊					有
	・ コンクリート及び鉄から成る建設資材					有
	・ 木材					有
特別管理産業廃棄物	・ 石綿含有吹付け材					
	・ 石綿含有保温材					
	・ 石綿含有成形板					
	・ PCB含有建材					
その他	・ 金属くず					
	・ 塵ブラ					
	○ 混合廃棄物	許可処分場		無	有	

・ 建設リサイクル法に基づく届出

以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。
配置する位置は別に図示する。

名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、
交通整理員については資格を問わない。
取扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱基準」
(営繕課HP掲載)による

1) 本工事の施工に先立ち、施工数量調査を行う。
2) 施工数量調査後、監督職員に報告書を提出する。
3) 調査結果を考慮し、施工計画を作成する。

調査範囲 ・ 外壁（底共）
調査方法 ・ テストハンマーによる打診
報告書の提出部数 * 1部

・

章

項 目

①

技能士の適用
[1.7.2]

12

化学物質の濃度
測定
[1.7.9]

②

工 事 写 真

③

完 成 図

15

保全に関する資料

16

関連他工事

17

特定元方事業者の
指名

④

施工図及び
施工計画書
[1.2.2、3]

⑤

事前調査等

⑥

撤 去 部 分

* 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。

下記により測定し、その結果を監督職員に報告する。
測定化学物質名：
・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン
・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン
測定時期：
・ 施工前 ・ 施工後
測定方法：
・ 宮構工事におけるホルムアルデヒド等測定要領
・ 学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領
・ 住宅性能表示制度に基づく測定方法
（ただし書きによる測定方法を含む）
測定箇所： 箇所
測定対象室：

下記のものを提出する。
仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。

区 分	分 類	サイズ (mm)	提出部数
工 事 中 写 真 (着工前含)	* カラー	* 80×120 程度	2 部
完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	2 部
電子データ (CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び 完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部

(注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。

下記のものを、竣工後15日以内に提出する。
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品 名 ・ 仕 様	提出部数
複 * 竣工図 写 製本サイズ (* A3縮小版) 白焼 図 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上げ))	2 部
* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等)	1 部

製本の取りまとめについては監督職員の指示による。
設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、雲南市にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。

書 類 名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1部
機器取扱い説明書	・ 部
機器性能試験成績書	
官公署等届出書類	
その他監督職員が指示するもの	
建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)	* 1部

・
・
・

下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。
・ 本工事の受注者
・ 関連他工事の受注者 (

提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における
使用権は発注者に委譲するものとする。

受注者は以下の規定に基づき、特定建築材料等の有無を事前に調査し、発
注者へ書面により説明すること。併せて調査結果の揭示及び所管労働基準
監督署長並びに都道府県知事等への報告を行うこと。
(大気汚染防止法第18条の15、石棉障害予防規則第3条及び第4条の2)

・ 分析調査 (定性分析) を行い、結果を報告する。
・ 試料採取箇所 () 試料数 ()
・ 図示による

・ 図示による ・

章	項目	特記事項
	21 耐震措置	耐震安全性については、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）令和３年版」による。 基準に基づき定められた区分等 構造体 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・Ⅲ類 建築非構造部材 ・Ａ類 ・Ｂ類 建築設備 ・甲類 ・乙類 特定室 （ ） 機能の停止が許されない室 （ ） ※記載のない室は一般室とする。
	22 耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 V_0 (m/s) ・ 30 ・ 32（旧益田市、旧匹見町、旧旧原町、隠岐郡） ・ 34（旧津和野町、旧柿木村、旧六日市町） 地表面粗土区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ 積雪荷重 告示第1455号、島根県建築基準法施行細則による
	23 施工計画調査	分析調査 ・ PCBを含む可能性のある機器類 現場にてサンプルを採取し、含有の有無を分析する。 採取場所 （ ） 採取機器 （ ） 採取箇所数 （ ） ・ 廃油の種類 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 採取場所 （ ） 採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所 ・ 廃酸又は廃アルカリの種類 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 採取場所 （ ） 採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所 ・ ダイオキシシン類 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 採取場所 （ ） 採取箇所数 （ ） ・ 塗膜塗料に含まれる有害物質 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 有害物質の種類 ・PCB ・鉛 ・クロム 採取場所 （ ） 採取箇所数 （ ）
	24 火災保険	契約約款第51条における保険の加入期間は、工事着手から工事の完成期日後 40 日とする。
	25 工事実績情報	・ 工事受注時 契約締結後10日以内 ・ 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 ・ 工事完成時 工事完成後10日以内
② 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]	騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 * 工事に必要な範囲
	3 足場等 [2.2.1]	「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」による。 外部足場 ○ 範囲（ ） ・ 図示による ・ 設置しない 外部足場の種類 （○） 棚足場 ・ 図示による 内部足場 ・ 範囲（ ） ○ 図示による ・ 設置しない 内部足場の種類 （ ・ 脚立、足場板等 ・ 枠組足場 ・ 移動式足場 ○ 図示による ） 材料、撤去材等の運搬方法 （表2.2.1） ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
	3 既存部分の養生 [2.3.1]	既存部分の養生方法 ○ ビニルシート ○ 合板 ・ 図示による 既存家具等の養生方法 ○ ビニルシート等による ・ 図示による 既存ブラインド、カーテン等の養生 養生方法 ・ 取り外し ・ 図示による 保管場所： 備品等の移動 ・ 図示による

図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月			担 当 者			
()	禪定寺収蔵庫修繕工事	仕様書 1						設 計 者		

章	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
4	仮設間仕切り [2.3.2]	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表2.3.1) A種、B種の表面板 ・ 石膏ボード (t＝9.5mm) ・ 合板 (t＝9mm) A種、B種の片面塗装等 ・ 行う (仕様 仮設扉の種別 ・ 木製 (合板張り程度)	5	アスファルト防水 [3.3.2～5]	屋根保護防水 防水層の種類	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ 図示による 屋内防水 改修工法 種別 施工場所 保護層 ・ P1E ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 E-1の場合で工程3を行う部位 (・ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 保護層 ・ 設ける (・ 図示による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示による 屋根露出防水 防水層の種類	6	合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]	脱気装置の種類 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個) 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁断熱工法の防水湿シート ・ 設置する ・ 設置しない 防水層の種類	
	5	監督員事務所 [2.4.1]		設置する 面積：㎡程度 仕上げ： 備品： 設備：	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類			改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)	脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類	
	現場事務所	設置できる (○ 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所：))		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)			脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類		
	工事用電力、水、その他	構内既存の施設 工事用水 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない 工事用電力 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)			脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類		
	仮囲い及び出入口	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)			脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類		
養生シート	設置範囲 ・ 図示の位置 ・ 外部足場全面 養生シートの種別 ・ 養生シート ・ 防災Ⅰ類 ・ 防災Ⅱ類 ○ ネット状養生シート ○ 防災Ⅰ類 ・ 防災Ⅱ類 ・	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)	脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類						
10	洗車場	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)	脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類					
11	木製安全施設製品 (県産木材製品)	・ 工事用看板 (表示板1, 400mm×500mm用) 2台 ・ 工事用バリアード 5台 ・ 工事用標示板 (表示板1, 400mm×1,100mm用) 1台 (注) 取り扱いは平成25年3月8日付営第945号による	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種類	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)	脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類					
3	防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法 [3.1.3]	・ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。 ・	2 既存防水の処理 [3.1.4] [3.2.3、4、6]	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示による ・) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示による ・) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X) ・ 行わない	3 ルーフトレンドレン回りの処理 [3.2.5]	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	4 既存下地の処置 [3.2.6]	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示による POS工法及びXPOS工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ・ 改修標準仕様書3.2.6(4) (9) (g) ①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すりや丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 ・ 図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する ・	
		5	改質アスファルト防水 [3.3.2～5]		屋根保護防水 防水層の種類		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ 図示による 屋内防水 改修工法 種別 施工場所 保護層 ・ P1E ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 E-1の場合で工程3を行う部位 (・ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 保護層 ・ 設ける (・ 図示による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示による 屋根露出防水 防水層の種類		改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)	脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類
		6	合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]		脱気装置の種類 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個) 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁断熱工法の防水湿シート ・ 設置する ・ 設置しない 防水層の種類		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ 図示による 屋内防水 改修工法 種別 施工場所 保護層 ・ P1E ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 E-1の場合で工程3を行う部位 (・ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 保護層 ・ 設ける (・ 図示による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示による 屋根露出防水 防水層の種類		改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)	脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類
		7	改質アスファルトシート防水 [3.4.2、3]		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ 図示による 屋内防水 改修工法 種別 施工場所 保護層 ・ P1E ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 E-1の場合で工程3を行う部位 (・ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 保護層 ・ 設ける (・ 図示による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示による 屋根露出防水 防水層の種類		改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)		脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類	
		8	改質アスファルトシート防水 [3.4.2、3]		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ 図示による 屋内防水 改修工法 種別 施工場所 保護層 ・ P1E ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 E-1の場合で工程3を行う部位 (・ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 保護層 ・ 設ける (・ 図示による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示による 屋根露出防水 防水層の種類		改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 厚さ (mm以上)		脱気装置の種類 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SⅠーM1及びSⅠーM2における防湿用フィルムの設置 ・ 設置しない ・ 設置する SⅠーM2の絶縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート SーM2及びSⅠーM2の立上り部の工法 ・ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ・ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類	
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者				
()	禪定寺収蔵庫修繕工事	仕様書2								

[illegible]

4
4
外壁改修工事（仕上塗材仕上外壁）

1 既存塗膜等の除去、
下地処理及び下地調整
[4. 5. 4]

2 下地調整材
[4. 5. 2]

3 仕上塗材仕上げ
[4. 1. 5]
[4. 5. 2]
[表4. 5. 1]

仕上塗材の種類

種 類	呼び名	仕上げの形状	工 法	備 考
・ 薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材 S i	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り	
	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材 砂壁状	・ 吹付け	
	・ 可とう形 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り	
	・ 防水形 外装薄塗材 E	・ 凹凸状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り	
	・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け	
	・ 内装薄塗材 W	・ 京壁状	・ 吹付け	
・ 厚付け 仕上塗材	・ 外装厚塗材 C 内装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ ひき 起こし	・ 吹付け ・ こて塗り	
	・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け	
・ 複層 仕上塗材	・ 複層塗材 C E	・ ゆず肌状	・ 吹付け	耐候形（ 種） 樹脂 ・ アクリル系 ・ シリカ系 ・ ポリウレタン 系 ・ アクリル シリコン系 ・ ふっ素系 溶媒 ・ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 外観 ・ つやあり ・ つやなし ・ メタリック
	・ 複層塗材 S i	・ 凸部処理	・ ローラー 塗り	
	・ 複層塗材 E	・ 凸部処理		
	・ 複層塗材 R E	・ 凹凸模様		
	・ 複層塗材 R S			
	・ 可とう形複層 塗材 C E			
・ 防水形複層 塗材 C E				
・ 防水形複層 塗材 E				
・ 防水形複層 塗材 R E				
・ 軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付用軽量 塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け	
	・ こて塗り用 軽量塗材	・ 平たん状	・ こて塗り	
・ 可とう形 改修用仕 上げ塗材	・ 可とう形改修 塗材 E ・ 可とう形改修 塗材 R E ・ 可とう形改修 塗材 C E	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状	・ ローラー 塗り ・ 吹付け	耐候形（ 種）

種別 ・ A種 ・ B種

4 マスチック塗材塗り
[4. 1. 5]
[4. 6. 2]
[表4. 6. 1]

5 外壁用塗膜防水材
塗り
[4. 1. 5]
[4. 7. 2、3]
[表4. 7. 1]

5 建具改修工事

1 改修工法
[5. 1. 3]

2 防火戸
[5. 1. 4]

3 見本の製作等
[5. 1. 5]

4 防犯建物部品
[5. 1. 7]

5 アルミニウム製建具
[5. 2. 2～5]
[表5. 2. 2]

6 網戸等
[5. 2. 3] [5. 3. 3]

7 樹脂製建具
[5. 2. 2]
[5. 3. 2～5]

建具の種類

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ アルミ製建具	・	・	＊図示による・
・ 樹脂製建具	・	・	＊図示による・
・ 鋼製建具	・ 外部	・	＊図示による・
	・ 内部	・	＊図示による・
・ 鋼製軽量建具	・	・	＊図示による・
・ ステンル製建具	・	・	＊図示による・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ＊ 図示による ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ＊ 図示による ・

・ 適用する 指定箇所（ ＊ 図示による ・
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
＊運動させる 適用箇所（・ 図示による ・
・運動させない

建具見本の製作 ・ 行う ・ 行わない
特殊な建具の仮組 ・ 行う ・ 行わない

・ 適用する 適用箇所（ ＊ 図示による ・

性能値等
・ 耐風圧性の等級（ ）、気密性の等級（ ）、水密性の等級（ ）
＊ 改修標準仕様書表5. 2. 1による種別
外部に面する建具の種別
・ A種（・ すべて・ 図示による・ ）
・ B種（・ すべて・ 図示による・ ）
・ C種（・ すべて・ 図示による・ ）
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（・ 図示による・ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（・ 図示による・ ）

ステンレス鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ＊ 図示による ・
表面処理
外部に面する建具
種別 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・
色合等 ＊ 標準色（ ）・ 特注色（ ）
屋内の建具
種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・
色合等 ＊ 標準色（ ）・ 特注色（ ）
結露水の処理方法 ＊ 図示による ・
取付工法
水切り板、ぜん板 ＊ 図示による ・
木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する

種類	材質	線径	網目
・ 防虫網	＊ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製	＊ 0. 25mm以上	＊ 16～18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm

性能値等
・ 耐風圧性の等級（ ）、気密性の等級（ ）、水密性の等級（ ）
＊ 改修標準仕様書表5. 2. 1による種別
外部に面する建具の種別
・ A種（・ すべて・ 図示による・ ）
・ B種（・ すべて・ 図示による・ ）
・ C種（・ すべて・ 図示による・ ）
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2
（建具符号：・ 図示による・ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級
・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8
（・ 図示による・ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ・ 図示による ・
表面色 標準色 ・ 特注色
取付工法
水切り板、ぜん板 ＊ 図示による ・
木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する
ガラス ＊ 複層ガラス ・

8 鋼製建具
[5. 2. 2]
[5. 4. 2～4]
[表5. 4. 2]

9 鋼製軽量建具
[5. 2. 2]
[5. 5. 2～4]

10 ステンル製建具
[5. 2. 2]
[5. 4. 2]
[5. 6. 2～5]
[5. 7. 2、3]

11 建具用金物

12 鍵
[5. 8. 4]

13 自動ドア開閉装置
[5. 9. 2、3]

性能値等（・ 図示による ・
簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3
水密性の等級 ・ W-1
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4
・ S-5
・ S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンル鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
くつずりの仕上げ
ステンル鋼板を用いる場合 ＊ H-L 以上
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ ＊ 改修標準仕様書表5. 4. 2による ・
使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形状及び寸法 ＊ 図示による

性能値等（・ 図示による ・
簡易気密型ドアセット ・ 適用する
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）

鋼板の材料
＊垂鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンル鋼板
ステンル鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ ＊ 改修標準仕様書表5. 5. 1による ・
使用箇所（ ）
召合せ、縦小口包み板の材質 ＊ 鋼板 ・
標準型鋼製軽量建具の形状及び寸法 ＊ 図示による

性能値等（・ 図示による ・
簡易気密型ドアセット ・ 適用する
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4
・ S-5
・ S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）

ステンレス鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
形状及び仕上げ
表面仕上げ ＊ H-L ・ 鏡面仕上げ ・
工法
ステンル鋼板の曲げ加工
＊ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（・ a角 ・ b角 ・ c角）

金物の種類及び見え掛け部の材質等
＊ 改修標準仕様書表5. 8. 1により適用は図示による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
＊ 改修標準仕様書表5. 8. 2による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
＊ 改修標準仕様書表5. 8. 3による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
＊ 標準仕様書表5. 8. 4による
木製建具に使用する戸車及びレール ＊ 標準仕様書表5. 8. 5による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
＊ 図示による ・

マスターキー
＊ 製作する（ 組） ・ 製作しない ・ 既存に組込む
鍵の製作本数
＊ 各室3本1組（室名札付き） ・
鍵箱 ・ 設ける（ 個用 組） ・ 設けない

引き戸用駆動装置
性能
・
＊ 改修標準仕様書表5. 9. 1による
種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2
車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能
＊ 改修標準仕様書表5. 9. 2による
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目
・

14 自閉式上吊り引戸
装置
[5. 10. 3]

15 重量シャッター
[5. 11. 2、3]

16 軽量シャッター
[5. 12. 2～4]

17 オーバーヘッドドア
[5. 13. 2、3]

引き戸用検出装置
性能
＊ 改修標準仕様書表5. 9. 3による
種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー
・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押し釦スイッチ
タッチスイッチの種類
・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・ 大形（開・閉）押し釦 非接触スイッチ
戸の開閉方式 ＊ 図示による ・
防錆 ・ 適用する ・ 適用しない
凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない

性能等 ＊ 改修標準仕様書表5. 10. 1による ・

シャッターの種類 ・ 管理用シャッター
・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター
・ 防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ＊ 電動式（手動併用） ・ 手動式
安全装置
急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
＊ 図示による ・
障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ＊ 図示による ・

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所
＊「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年
12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
・
管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ＊ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯）
めっきの付着量 ＊ Z12又はF12を満足するもの ・
ガイドレール、まぐさ、雨係に用いる座板及び座板のガイドレール、雨掛りに
用いるスライダックス類のふたの材質
ステンル鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・

開閉方式の種類 ＊ 手動式 ・ 電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ） N／m2
安全装置
障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所
＊ 図示による ・
スラットの材質の種類
＊ JISG3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板）
めっきの付着量（＊ Z06又はF06を満足するもの ・
・ JISG3322（塗装溶融55％Zn-5％Ni-鋼）亜鉛合金めっき鋼板及び鋼板）
めっきの付着量（＊ A290を満足するもの ・
スラットの種類 ＊ インターロック形 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ＊ 設ける ・ 設けない
ガイドレール（中柱共）の材質 ＊ ステンル鋼板（SUS304） 厚さ1. 0mm
・
座板の材質（屋外の場合） ＊ ステンル製既製品 ・

セクション材料 による区分	風圧力による 強さの区分	開閉方式 による区分	収納方式 による区分	ガイドレール の材料
＊ スチールタイプ ・ アルミタイプ ・ アルミタイプ ・ アルミタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	＊ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スライド形 ・ ロール形 ・ バリケード形 ・ バリケード形	＊ 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ ステンル鋼板

電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ＊ 図示による ・

図 面 番 号

()

工 事 名

禪定寺収蔵庫修繕工事

図 面 種 別

仕様書 4

縮 尺

設計・年月

担 当 者

設 計 者

18 木製建具
[5. 7. 2～4]

建具材の加工、組み立て時の含水率　＊ A種
・ フラッシュ
表面材の含水率・放散量等
＊標準仕様書16. 7. 2(2) (イ) (a)による
表面材の品質等

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （＊ウツ合板程度　・　） 不透明塗料塗り （＊しな合板程度　・　） 板面の品質（・広葉樹1等　・　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・天然木化粧合板	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （・オーバーレイ　・プリント　・塗装） 表面性能（　タイプ　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表表面の状態による区分（　　） 曲げ強さによる区分（　　） 接着剤による区分（　　） 難燃性による区分（　　）	

表面板の厚さ　＊標準仕様書表16. 7. 6Iによる　・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用する　・適用しない
・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　＊図示による　・
・ふすま
張りの種別（　・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）　・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
緑色上げ　・塗り緑　・生地緑（素地）　・生地緑（ケラクリヤー塗装）
見込み寸法　＊図示による　・
・戸ぶすま　見込み寸法　＊図示による　・
・紙張り戸子　見込み寸法　＊図示による　・
枠の材料　・木製枠
・鋼製枠（＊亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カー鋼板
・ステンレス鋼板）
くつずりの材料　＊ステンレス鋼板

19 ガラス
[5. 14. 2～4]
[図5. 14. 1]

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等
＊図示による　・
合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合わせ
ガラスの合計厚さ及び特性による種類
＊下記以外は図示による　・

材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットパイク衝撃特性 による種類
・フロート板、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－1類 ・Ⅱ－2類　・Ⅲ類

強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性に
よる種類
＊下記以外は図示による　・

材料板ガラスの種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びショット パイク衝撃特性による種類
・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・	・	・Ⅰ類　・Ⅲ類

熱線吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による
種類
＊下記以外は図示による　・

材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種　・2種	・グリーン　・
・熱線吸収網入り磨き板ガラス		

複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
＊下記以外は図示による　・

断熱性による区分	乾燥気体の種類
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6	・空気　・フロン　・

日射取得性、日射遮蔽性による区分	乾燥気体の種類
・G　・S	・空気　・フロン　・

熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
＊下記以外は図示による　・

材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性	耐久性
・	・1種	・A類
色調（・ブルー　・グレー　・　）	・2種	・A類　・B類
	・3種	・B類

反射皮膜面　・内面　・外面
映像調整　・行わない　・行う

20 ガラスブロック積み
[5. 14. 5]

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	＊シーリング材 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル ・	＊ 建具の製造所の仕様 による ・
鋼製及び鋼製軽量	＊シーリング材 ・	＊ 建具の製造所の仕様 による ・
ステンレス製	＊シーリング材 ・	＊ 建具の製造所の仕様 による ・
樹脂製	＊シーリング材 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル ・	＊ 建具の製造所の仕様 による ・

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調 ｸﾘｱ　乳白	目地幅 (mm)	伸縮調整 目地位置	防火 性能
・正方形	・160×160	・95	・	・	＊8～15	外側 ・ 内側 ・
		・125				
		・200×200				
・	・	・95	・	・	・	＊6m以下 幅10～25 ・図示
		・125				
		・				

目地幅(曲面積み)の指示ないものは標準仕5. 14. 5(2) (イ) ②による
壁用金属枠及び補強材の材質・形状　＊図示　・
力骨　材質　＊ステンレス鋼（SUS304）　・
寸法　＊径5. 5mm　・
形状　＊はしご形状複筋及び単筋　・

化粧目地モルタルの色（　　）
シーリングの種類（　　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　＊図示　・
形状　＊図示　・

目地部の横力骨の納まり
＊ガラスブロック製造所の仕様による　・図示　・

21 ガラス用フィルム

種　　類	記号	その他性能等
・内貼り用	・外貼り用	
・日射調整フィルム	・SC-1　・SC-2	日射遮蔽性能による区分 ・A　・B　・C　・D　・E
・低放射フィルム	LE	熱伝導率による区分 ・A　・B　・C　・D
・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GI-1	
・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	GD-1	GI-2
・ガラス貫通防止フィルム	SF	GD-2

ガラス貫通防止性能による区分
・A　・B

品質　JIS　A5759Iによる

23 付属電気設備

⑥

① 他 の 部 位 と の 取 り 合 い 等
[6. 1. 3]

② 既存床の撤去及び下地補修
[6. 2. 2]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲
＊壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
＊図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
＊壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
＊図示による
既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
＊既存のまま　・図示による

ビニル床シート等の撤去　＊仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも
（・図示の範囲　・撤去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　＊機械的除去工法　・目荒し工法
既存のコンクリートまたはモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及び
エポキシ樹脂モルタルは、4 章外壁改修工事による。

24 既存壁の撤去及び下地補修
[6. 3. 2]

4 木材
[6. 5. 2]

5 造作用集成材
[6. 5. 2]

6 造作用単板積層材
[6. 5. 2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
＊改修標準仕様書4. 3. 10Iによるモルタル塗り
（仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置　＊図示による　）

・JAS 1083-5 製材 - 第5 部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	備考
		＊2 級 ・	＊A種　・B種 ・		
		＊2 級 ・	＊A種　・B種 ・		

・JAS 1083-2 製材 - 第2 部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	備考
見え掛り面		＊上小節 ・	＊A種　・B種 ・		
見え掛り面以外		＊小節以上 ・	＊A種　・B種 ・		

・JAS 1083-6 製材 - 第6 部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	備考
		＊1 等 ・	＊10%以下・A種 ・B種　・		
		＊1 等 ・	＊10%以下・A種 ・B種　・		

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	備考
		（　　） 造作材の場合 （＊A種　・B種）	・適用する ・適用しない	＊A種 ・B種 ・	

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	備考
				＊1 等 ・2 等		

・「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)
		化粧薄板： 芯材：		
		見付け材面	見付け材面の品質	備考
		＊1 等 ・2 等		

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	備考
			＊1 等 ・2 等	＊15%以下 ・	

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	備考
			・有り （・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し （等級：　　）	・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	備考
			・有り （・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し （等級：　　）	・適用する ・適用しない	＊14% 以下 ・	

7 合板等
[6. 5. 2]

⑧ 接合具等
[6. 5. 3]

・JAS 3079に基づく直交集積板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 （使用環境）	樹種名	寸法 (mm)	備考

・普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	備考
	＊5. 5 ・		＊1類 ・2類	広葉樹 ＊2等以上 ・1等 針葉樹 ＊C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	

・構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
	＊2級以上 ・1級		＊1類 ・特類	＊C-D以上 ・
	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	備考
	＊12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する（　　） ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	備考
			＊1類 ・2類	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	備考
				＊1類 ・2類	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	備考
	＊1類 ・特類				・適用する ・適用しない	

・パーティクルボード

施工箇所	表表面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)
		＊13タイプ ・	＊P又はM ・		＊15 ・

・JAS 0360Iに基づく構造用パネル

施工箇所	等級	寸法 (mm)
	・1 級　・2 級　・3 級　・4 級	

・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）

施工箇所	厚さ (mm)	表表面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	難燃性 による区分	備考

造作材の化粧面の釘打ち
＊隠し釘打ち
＊釘頭埋め木
＊つぶし頭釘打ち
＊釘頭現し
諸金物
＊かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（標準仕様書　表6. 5. 3～5に示す程度の市販品 表8. 20. 1のF種程度）
・（形状：　　寸法：　　材質：　　）

図面番号

工 事 名

図 面 種 別

縮 尺

設計・年月

担 当 者

設 計 者

禪定寺収蔵庫修繕工事

仕様書 5

章 目		特 記 事 項	章 目	特 記 事 項	章 目	特 記 事 項	章 目	特 記 事 項
9	防 腐 ・ 防 蟻 処 理 〔 6. 5. 5 〕	・ 薬剂の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 ・ K 2 * K 3 ・ K 4 ・ K 2 * K 3 ・ K 4 ・ K 2 * K 3 ・ K 4	17	ビニル床タイル 〔 6. 8. 2 〕	種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 * KT ・ 無地 ・ 300×300 ・ 帯電防止 * 2.0 ・ TT ・ FT ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 防滑性 ・ 2.5 ・ FOA ・ FOB ・ 500×500 ・ 3.0	24	フロリング`張り 〔 6. 11. 2～6 〕	単層フローリング 種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等の適用 ・ フロリング` ボ`ード1等 ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法 ・ フロリング` ア`ロ`ク1等 ・ 接着工法
		・ 薬剂の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剂の種類 * 薬剂の製造所の仕様による * JIS K 1571に適合又は同等品			特殊機能 帯電防止・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455)1.2以上～3.2未満又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454)1×10`7～1×10`10Ω程度			
		・ 薬剂の接着剤への混入による防腐、防蟻処理 適用部位 () ・ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ()			接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示による			
		・ 間仕切軸組に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) * 杉又は松 ・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) * 杉又は松			材質の種類 * 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) * 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) * 1.5以上			
		・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) * 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松			種類 色柄 厚さ (mm) 寸法 (mm) ・ 単層品 ・ 複層品 () ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 ()			
10	内部間仕切り軸及び床組み 〔 6. 5. 6 〕	・ 間仕切軸組に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) * 杉又は松 ・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) * 杉又は松	19	ビニル幅木 〔 6. 8. 2 〕	種類 色柄 厚さ (mm) 寸法 (mm) ・ 単層品 ・ 複層品 () ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 ()	25	畳敷き 〔 6. 12. 2 〕	複合フローリング 種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等の適用 ・ 天然木 化粧複合 フロリング` ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法 ・ 天然木 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 15 ・ 12 ・ 12 ・ 12 ・ 12 ・ 12
11	窓、出入口その他 〔 6. 5. 7 〕	・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) * 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松						
12	床板張り 〔 6. 5. 8 〕	・ 縁甲板及び上がりこまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) * ひのき						
13	壁及び天井下地 〔 6. 5. 9 〕	・ 壁胴縁、緑縁受枠、緑縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) * 杉又は松						
14	軽量鉄骨天井下地 〔 6. 6. 2～4 〕	緑縁等の種類 屋外 (* 25形 ・) 屋内 (* 19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 緑縁受け、つりボルト及びびンサートの間隔 ・ 図示による ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による ・ 緑縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う (試験箇所数 * 屋内の場合、当該階において3箇所) ・ (確認強度 * 改修標準仕様書6. 6. 4 (1) (イ) による) ・ 行わない			26	せつこうボードその他ボード及び合板張り 〔 6. 13. 2、3 〕	合板の貼`ラ`デ`ビ`ド`放散量 * 標準仕様書19. 7. 2 (2) (イ) の (a) ～ (d) のいずれか 種類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等 ・ 硬質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 中質木毛セメント板 MW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 普通木毛セメント板 NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 硬質木片セメント板 HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 普通木片セメント板 NF ・ 30 ・ けい酸セメント板 0. 8FK タイ`2 (無石棉) ・ 6 ・ 8 1. 0FK ・ フラットタイ` (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃)) ・ ロック`ル化粧吸音板 DR ・ 凹凸タイ` (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)) ・ ロック`ル吸音ボ`ード1号 RW-B ・ 25 ・ グ`ラ`スクル吸音ボ`ード32K GW-B ・ 25 (タ`ス`タ`ス包)) ・ せつこうボ`ード GB-R * 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 不燃積層せつこうボ`ード GB-NC 9. 5 (不燃) ・ 化粧なし (下地は利用) ・ 化粧有 (トラ`ン`チ模様) ・ シ`ン`グ`せつこうボ`ード GB-S 12. 5 (* 不燃 ・ 準不燃) ・ 強化せつこうボ`ード GB-F ・ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃) GB-L 9. 5 ・ 化粧せつこうボ`ード GB-D 9. 5 (準不燃) (トラ`ン`チ模様) ・ 普通合板 表板の樹種名 生地、透明塗料塗り (* ラ`ン`程度) 不透明塗料塗り (* しな`程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない) ・ 天然木化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない) ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 (・ オ`パ``レイ ・ プ`リ`ト ・ 塗装) 表面性能 ()タイ` 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない) JIS K 6903による厚さ (* 1. 2 ・) ・ マ`シ`ン`樹脂化粧板 ・ 木`シ`ス`樹脂化粧板 ・ ミ`ディ`ア`ン`ティ` フ`ラ`イ`ン`ボ`ード ・ MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 無研磨板VN ・ 研磨板VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18	
15	軽量鉄骨壁下地 〔 6. 7. 3. 4 〕 〔 表 6. 7. 1 〕	スタッド、ランナの種類 * 改修標準仕様書表 6. 7. 1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による スタッドの高さが5. 0mを超える場合 * 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 * 改修標準仕様書 6. 7. 4. (5) による	22	合成樹脂塗床 〔 6. 10. 2、3 〕	種類 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 * FS ・ 無地 ・ マ`ブ`ル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防滑性 * 接合部の処理 (工法 * 熱溶接工法) * 突付け (施工箇所 :) 特殊機能 帯電防止・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455)1.2以上～3.2未満又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454)1×10`7～1×10`10Ω程度			
16	ビニル床シート 〔 6. 8. 2、3 〕	種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 * FS ・ 無地 ・ マ`ブ`ル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防滑性 * 接合部の処理 (工法 * 熱溶接工法) * 突付け (施工箇所 :) 特殊機能 帯電防止・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455)1.2以上～3.2未満又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454)1×10`7～1×10`10Ω程度						

[illegible]

[illegible]

章		項目		特記事項		項目		特記事項		項目		特記事項		項目		特記事項	
9 環境配慮 改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 [9. 1. 1、3～5]	・アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点		除去対象範囲 作業場の隔離 試験施工 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 確認及び後片付け 石綿含有建材除去後の仕上げ工事		10 その他		1 フリーアクセスフロア (20. 2. 2)		構造 所定荷重 耐震性能 H 補寸法(mm) 高さ(mm) 表面仕上材 施工箇所 寸法精度 スロープ及びびりぐー 配線用取り出しバ ワーファン7777全体面積に対する接地割合 配線取り出し開口 空調用吹出(水込み)バ 空調用吹出(水込み)バ 案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 室名札、ビクトグラ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 3 ブラインド (20. 2. 14)		8 天井点検口		材種 寸法(mm) 形式 外枠 内枠			
		適用名称 測定時期 測定場所 測定点(各施工箇所) 測定1 処理作業前 処理作業室内 測定2 調査対象室外部の付近 測定3 処理作業中 処理作業室内 測定4 排気ダクト入口 測定5 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) 測定6 処理作業室外 施工区画周辺・敷地境界 測定7 処理作業後(養生中) 処理作業室内 測定8 処理作業後 処理作業室内 測定9 シート撤去後 調査対象室外部の付近 1週間以降		・計点 ・計点													

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 * 図示による

断熱材
断熱材の種類()、断熱材の厚さ(mm)
施工箇所 ・ 図示による

外装材

既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部がある場合の改修工法 * 4章外壁改修工事による
不陸等の下地調整 ・ 図示による
通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け
* 断熱材及び外装材製造所の仕様による

・断熱材打込み工法

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 * A種I ・ A種IH
吹き付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
施工箇所 * 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフライン周りの床版下など、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ 図示による現場発泡断熱材
・断熱材後張り工法
断熱材の種類()
断熱材の厚さ(mm)
・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
(材質 厚さ mm)・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法